

与えんがための人生 — 所長就任の挨拶に代えて —

キリスト教文化センター 所長
和田 喜彦



一八九〇年一月二七日同志社礼拝堂前で挙行された新島襄の葬儀に際し、勝海舟は新島の人生を総括する言葉を一本の幟に揮毫しました。「彼等は世から取らんとす、我等は世に与えんと欲す」。新島の人生は自らを空しくし、世のため学生・教職員のため、教育・募金・伝道活動に邁進する毎日でした。翻って現代社会は自己利益中心主義が蔓延しているように思えます。国々が自国の利益に執着するあまり殺戮の連鎖が止まりません。企業利益が優先され、人権・環境問題がしばしば発生しています。今こそ、世から取らんとするのはなく、世に与え、世に奉仕する「与えんがための人生」を目指そう、人権と平和を守ろうと決意する学生が育つ「利他主義教育」を盛り上げたいと思います。キリスト教文化センターがその中心となることを願っております。

着任のご挨拶

キリスト教文化センター 准教授
李 元重



「人は何で生きるか」というトルストイが作った民話があります。その問いに対してトルストイは、人は「愛」によって生きる」と説明し、神こそが、その愛であるとしています。私も本当にその通りだと信じています。大学教育と「愛」は、一見、馴染まないように思われるかもしれませんが、私は新島襄の教育も愛の教育であつたと理解しています。ここでいう愛とは、単に感情的なものを指すのではなく、知識と品性、真理と慈悲、正義と平和を備えたものなのです。本学の建学の精神として、キリスト教主義教育の責任を担う一員として、学生と教職員の方々がその愛を人格的かつ豊かに体験できるように努めたいと思います。新島襄の天父であり私の主なる神の尊い祝福とご導きを祈ります。



2024 春の行事・プログラム

各行事は都合により、変更になる可能性があります。
最新の情報は、キリスト教文化センターホームページまたは掲示板をご覧ください。

○逝去者追悼礼拝

志半ばで逝去された学生・教職員を悼み、祈りを捧げる礼拝です（チャペル・アワーで行います）。

今出川校地
日 時：4月24日（水）10：50～11：30
会 場：クラーク・チャペル
奨励者：副学長 木原 活信（予定）

京田辺校地
日 時：4月24日（水）12：30～13：00
会 場：同志社京田辺会堂

言館（KOTOBA-KAN）礼拝堂
奨励者：副学長 廣安 知之（予定）

○聖書に親しむプログラム

一人ひとりが聖書と向き合い、ディスカッションを通じて聖書に親しむための集いです。大学に入学して初めて聖書を手に取った、という方ももちろん大歓迎。面接授業期間中に行っています。

今出川校地
「聖書を学ぶ会」不定期開催（1カ月に1回程度）
「聖書を味わおう」毎週金曜日 13：15～14：00
キリスト教文化センターラウンジ（クラーク記念館1階）

京田辺校地
「聖書にふれる会」毎週火曜日 時間未定
「スタートアップ：聖書の扉」毎週金曜日 13：15～14：00
同志社京田辺会堂 光館（HIKARI-KAN）チャプレン室

○熊本キャンプ ～Doshisha Spirit Tour～

9月4日（水）～6日（金）
「同志社のもうひとつの源流」とも言うべき「熊本バンド」が、キリスト教信仰を告白した花岡山などを訪ね、その志を学び、自らを省みる試みです。〈キャンプ説明会〉

今出川校地
5月21日（火）12：30～12：45

会場未定
京田辺校地
① 5月17日（金）13：00～13：10
同志社京田辺会堂 言館（KOTOBA-KAN）礼拝堂＊
② 5月20日（月）12：30～12：45
同志社京田辺会堂 光館（HIKARI-KAN）旧館セミナー室
＊ランチタイム・チャペル・アワー後に行います。

○同志社京田辺会堂光館（HIKARI-KAN）ラウンジ展示（第19期展）

テーマ：「新島襄と自然科学
— 同志社のキリスト教主義と科学 —」

会 期：4月1日（月）～9月中旬
9：00～17：00

*土・日・祝日、大学休校期間を除く。
新島襄や同志社の歴史と建学の精神に関する展示を行っており、半期ごとに展示資料を入れ替えています。自由にご覧になれますので、ぜひお越しください。詳細についてはホームページをご確認ください。

○Doshisha Spirit Week 2024 春

6月10日（月）～6月15日（土）
同志社大学の歴史や建学の精神、新島襄についての講演など、同志社を学び、知るための企画を行います。創立の志に触れる1週間です。それぞれの会場を含め詳細につきましては、ホームページ・掲示板をご確認ください。

○メディテーション・アワー

オルガニストによるオルガン演奏を聴きながら心静かなひとときをお過ごしください。
4月11日（木）～7月11日（木）までの月・木 12：40～13：00

今出川校地
会場：クラーク・チャペル

京田辺校地
会場：同志社京田辺会堂 言館（KOTOBA-KAN）礼拝堂

○チャプレンとの面談

学生の人生における悩みや不安などの相談に応じています（教会のみならず、学校、病院などで働きを担う牧師をチャプレンと呼びます）。

今出川・京田辺両校地
森田 喜基、李 元重

今出川校地
金曜日 14：00～15：00 仲程 愛美

京田辺校地
金曜日 14：00～15：00 川江 亜希子



チャペル・アワー案内

2024年4月1日

No.263

同志社大学

キリスト教文化センター

京田辺

0774-65-7370

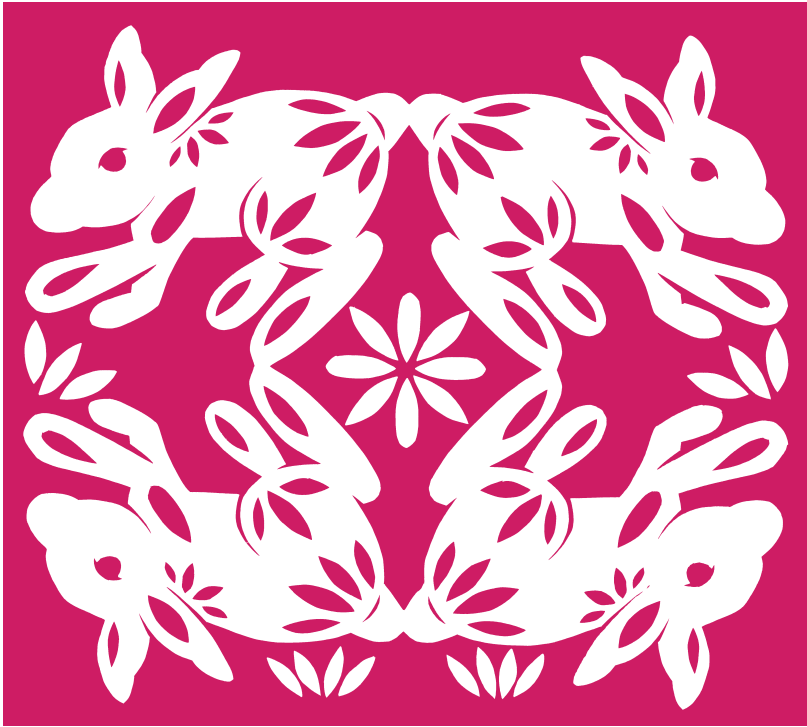
今出川

075-251-3320

本センター
ホームページ
<https://www.christian-center.jp/>



「イザヤ書」



切り絵 中谷隆志

春学期チャペル・アワー統一テーマ

「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください。」
（イザヤ書 6章8節より）

あなたや私が今ここにいる意味は何でしょうか。周りの評価が気になる私たちに聖書は、全く別次元の人の存在意義を示しています。

旧約聖書に出てくるイザヤという預言者は、この箇所少し前の場面で、自分が神の前でいかに罪深い存在であるかを悟り、こんな自分は神に滅ぼされるのではと絶望します。しかし神はイザヤの罪が赦されたことを宣言しました。そして混とんとした時代に神に代わって「誰を遣わすべきか」と語り、イザヤは「わたしがおりにあります。」と応答し、立ち上がったのです。神に赦されることで、大きな仕事を引き受けるモチベーションを持つ人間の姿がここに描かれています。

人が神と出会うということは、まず自分は神に赦され、愛されて今あることに気づくことでもあります。そしてその自己存在の確かさの上で、その「使命」、まさに命をどう使って生きていくのかについて考えることです。大学での学びはそのような中長期的スパンで自分の生き方を考える時でもあるかもしれません。問題だらけのこの時代に、大学で学ぶ意味、また一人ひとりの存在意義の「今」と「これから」について、チャペルで耳を澄ましてみませんか。

（キリスト教文化センター 准教授 森田 喜基）

チャペル・アワー

年間実施予定 春学期…4月12日(金)～7月17日(水)
秋学期…10月1日(火)～2025年1月17日(金)



◎チャペル・アワーは礼拝堂で行うとともに、各地地隔週で録画によるオンライン配信を予定
定です。当日の奨励題や配信のスケジュールなど詳細につきましては、ホームページや学内掲
示板をご覧ください。
◎チャペル・アワーに参加の方は、会場入口に掲示する注意事項を遵守してください。
◎音声や文字などによるサポートが必要な方は、実施日の2週間前までに各校地の事務室までお
知らせください。

スケジュール(春学期前半)

京田辺校地

月/日	奨励者
5/16	日本キリスト教団香里ヶ丘教会牧師 渡辺圭一郎
4/23	日本キリスト教団能登川教会牧師 谷 香澄
5/7	日本キリスト教団南大阪教会牧師 尾島信之
5/14	日本キリスト教団城陽教会牧師 松田 祈
5/21	日本キリスト教団香里ヶ丘教会牧師 渡辺圭一郎
5/28	日本キリスト教団能登川教会牧師 谷 香澄

今出川校地

月/日	奨励者
4/16	キリスト教文化センター准教授 森田喜基
4/23	学長 小原克博
5/7	グローバル・スタディーズ研究科教授 中西久枝
5/14	日本キリスト教団北千里教会牧師 宮岡真紀子
5/21	キリスト教文化センター准教授 李 元重
5/28	日本キリスト教団宇治教会牧師 早瀬和人

火曜チャペル・アワー

神学館礼拝堂 毎火曜日17時30分～18時10分

水曜ランチャタイム・チャペル・アワー

同人社京田辺会堂 言館(KOTOBANKAN)礼拝堂 毎水曜日12時35分～13時

月/日	奨励者
4/17	キリスト教文化センター准教授 李 元重
4/24	※逝去者追悼礼拝 副学長 廣安知之(予定)
5/8	日本キリスト教団城陽教会牧師 松田直樹
5/15	※音楽礼拝 神学部長・神学研究科長 関谷直人
5/22	キリスト教文化センター准教授 森田喜基
5/29	生命医科学部教授 渡辺公貴

水曜チャペル・アワー

クラーク・チャペル 毎水曜日10時50分～11時30分

月/日	奨励者
4/17	逝去者追悼礼拝 副学長 木原活信(予定)
4/24	日本キリスト教団京都教会副牧師 入 順子
5/8	日本キリスト教団大阪福島教会牧師 森田喜之
5/15	日本キリスト教団城陽教会牧師 松田 祈
5/22	日本キリスト教団香里ヶ丘教会牧師 渡辺圭一郎

金曜ランチャタイム・チャペル・アワー

神学館礼拝堂 毎金曜日12時35分～13時

月/日	奨励者
4/12	日本キリスト教団高槻日吉台教会牧師 吉岡恵生
4/19	日本キリスト教団浪花教会牧師 川江亜希子
4/26	日本キリスト教団阿倍野教会牧師 山下壮起
5/10	日本キリスト教団眞面教会牧師 家山華子
5/17	日本キリスト教団高槻日吉台教会牧師 吉岡恵生
5/24	日本キリスト教団浪花教会牧師 川江亜希子
5/31	日本キリスト教団阿倍野教会牧師 山下壮起

月/日	奨励者
4/12	日本キリスト教団石橋教会牧師 仲程愛美
4/19	日本キリスト教団平安教会牧師 小笠原 純
4/26	日本キリスト教団同志社教会牧師 菅根信彦
5/10	神学部教授 越後屋 朗
5/17	日本キリスト教団豊中教会牧師 山崎道子
5/24	日本キリスト教団平安教会牧師 小笠原 純
5/31	日本キリスト教団石橋教会牧師 仲程愛美

「チャペル・アワーへようこそ」

◆チャペル・アワーとは？

チャペル・アワーは、キリスト教主義の大学である同志社大学の最も大切なひとときとして、キリスト教文化センターが提供しているプログラムのひとつです。面接授業期間中、現代に生きる人間の諸問題をめぐって、学内外のさまざまな分野の人々に奨励(メッセージ)をいただいています。

◆どんなお話が聞けるの？

お話をされるのは、学内の先生方や法人内諸学校の先生方を始め、牧師(チャプレン)の方々や他大学・学校の先生方。また、社会で活躍している卒業生やさまざまな活動をされている学生の方にもお話しいただきます。

お話の内容は、キリスト教や聖書に関すること、同志社の建学の精神や歴史・人物などに関する事、お話をされる方が、学生にぜひ伝えたいと思うことなどについて語られます。

◆どこで?いつ?どれくらいの時間?

学内のチャペルにおいて、各校地で面接授業期間中に週3回行います。ランチャタイムのチャペル・アワーは25分間程度、それ以外は40分間程度の予定です。奨励者や奨励題は学内の掲示板やホームページでお知らせします。春学期前半の予定は上段のスケジュールをご確認ください。

◆チャペル・アワーの流れ

チャペル・アワーは礼拝形式で行われます。奨励者のお話を聞き、聖書を一緒に読み、讃美歌を歌い、祈りの時間を共に過ごします。礼拝に参加されている方の助けとなりますので、できるだけ遅れないようにお越しいただき、また途中退室もご遠慮ください。

●前奏…オルガンの演奏を聴きながら、心を静めて、礼拝の時を待ちます。

●讃美歌…備えつけの讃美歌集を開き、起立して、オルガンに合わせて歌いましょう。

●聖書・祈祷…その日の聖書箇所を司式(司会)者が朗読します。聖書を開いて聴きましょう。そのあと司式者がお祈りをします。その終わりに祈りを共にする思いをこめて、「アーメン」(まことに、確かに、そのとおり、という意味)と唱和します。

●合唱…週によっては学内の合唱団体が合唱奉仕を行います。座つたまま、お聴きください。

●奨励(メッセージ)…学内の教職員・学生、学外からお越しいただいた牧師(チャプレン)・先生方によるお話があります。心を開いて耳を傾けましょう。

●讃美歌…同右

●祝福…牧師(チャプレン)が手を挙げて会衆を祝福します。祝福の最後には共に「アーメン」と唱和します。

●報告…司式者より催しの案内や連絡事項をお伝えします。

●後奏…オルガンの演奏を聴きながら、静かに礼拝を振り返ります。後奏が終了するまでが、チャペル・アワーです。奏楽途中の退席は謹んでください。

◆開始時間までに会場へお越しください。参加の予約は必要なく、服装も自由です。また、会場の座席に聖書と讃美歌をご用意しています。受付で当日のプログラムをお渡ししますので、内容に沿って、お手元の聖書や讃美歌をお開きください。

※チャペル・アワーに参加される際には、予め電子機器の電源をお切りください。礼拝堂・チャペル内は飲食厳禁です。写真撮影・録音もご遠慮ください。

※都合により、プログラムは変更される可能性があります。

※京田辺校地の4/24逝去者追悼礼拝は12時30分から開始します。

※京田辺校地の5/15音楽礼拝は青空チャペルで行います。